

## いのちの歓び

いのちの歓び いのちの歓び いのちの歓び いのちの歓び  
WU～ WU～ WU～

いのちの歓び いのちの歓び  
細胞を ひとつひとつ くぐり抜けて 広がってゆく  
いのちの歓び いのちの歓び  
細胞を ひとつひとつ くぐり抜けて 広がってゆく

心臓の音 トクトクと 枯葉の音 かさかさと  
いのちは いろんな場所を くぐり抜けて 広がってゆく

引いてはよせる 波のように 回り続ける 星のように  
いのちは 終わりのない 永遠の歌を 歌っている

目に見えぬ裏側の 世界と人は思っている  
いのちの世界 それこそが本当の 真実の世界

人間はその裏側で いのちが見えなくなって  
どこにあるのかと いつもいつも外を探している

いのちは 場所を越えて いのちは 時を越えて  
全ての隔たりを結びながら 流れてゆく

いのちは いつもここに いのちは いつもそこに  
土の中で 水の中で 空気の中で  
炎のように燃え 水のように流れほとぼしり  
心臓を動かして 血液を流れさせ  
雨を降らせ 風を吹かせ 昼と夜を繰り返し  
赤子をこの世に送り出し 赤子は子どもから大人へ  
変化してゆき 花を咲かせて 実を成らす

いのちは命を食べて いのちをつないでゆく  
いのちは命を産んで いのちをつないでゆく

それは歓び それは愛  
時が来れば扉が開き 命が顔を出して

終わりのない歌を歌い 終わりのない物語を語り  
脈々と とどまることを 知らぬ流れ

WU～ WU～ WU～♪